

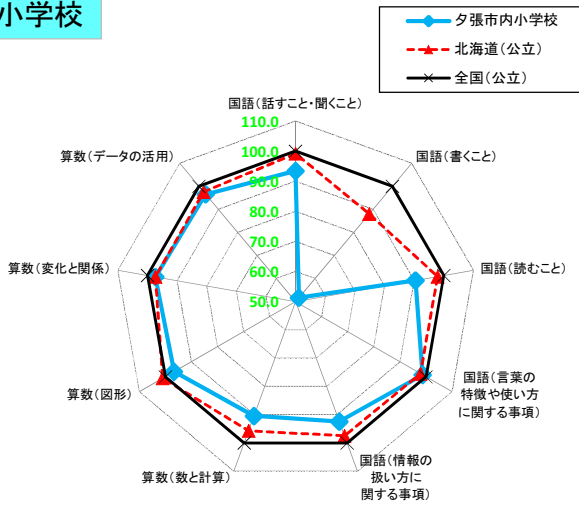
■夕張市内の状況及び学力向上策（小学校数:1校、児童数:29人）（中学校数:1校、生徒数:28人）

【教科全体の状況】

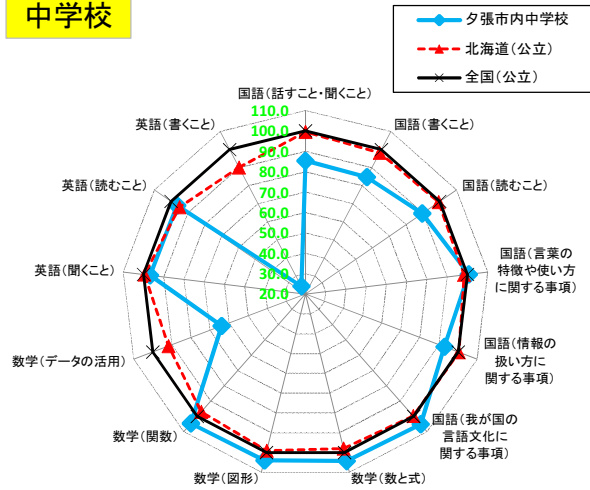
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの  
 (市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

平均正答率	小学校	中学校
国語	63	65
算数・数学	58	49
英語	-	39

小学校

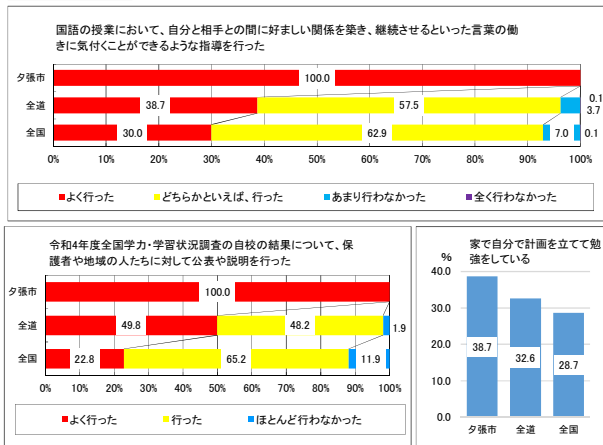


中学校

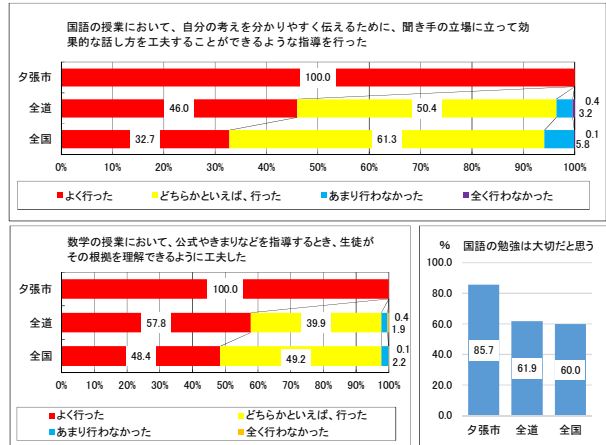


【質問紙の状況】

小学校



中学校



【上記結果の考えられる要因の分析】

**小学校**

国語の授業において、自分と相手との間に好ましい関係を築き、継続させるといった言葉の働きに気付くことができるような指導を行ったことにより、国語の「言葉の特徴や使い方にに関する事項」で平均正答率が全道を上回ったと考えられる。

令和4年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明をよく行ったことにより、家で自分で計画を立てて勉強している児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

**中学校**

国語の授業において、自分の考えを分かりやすく伝えるために、聞き手の立場に立って効果的な話し方を工夫することにより、国語の勉強は大切だと回答した生徒の割合が全国及び全道を上回るとともに、国語の「言葉の特徴や使い方にに関する事項」で平均正答率が全国及び全道を上回ったと考えられる。

数学の授業において、公式やきまりなどを指導するとき、生徒がその根拠を理解できるように工夫したことにより、数学の「数と式」「図形」「関数」の領域で平均正答率が全国及び全道を上回ったと考えられる。

【夕張市の学力向上策】

- ◎ 「ゆうぱりっこ、学び育成プラン」に基づく取組の充実と検証・改善
- ◎ 夕張市小中連携学力向上プロジェクト委員会による学力分析と改善方策の検討
- ◎ CSとの連携による家庭学習週間(ファミスタウィーク)の実施と学習習慣の改善
- ◎ 1人1台端末の効果的な活用を図るための教員の研修機会の充実